
広域不燃ごみ処理施設整備・運営事業
落札者決定基準

令和5年5月10日
岩手中部広域行政組合

目 次

第1章 落札者決定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 決定の手順	1
第2章 参加資格審査	3
1 参加資格要件の項目	3
第3章 提案審査	3
1 提案書の基礎審査	3
2 提案書の技術審査	3
3 開札及び入札価格の確認	5
4 価格審査	5
5 総合評価値の算定方法	6
第4章 提案書に関するヒアリング	8
第5章 審査結果等の公表	8

第1章 落札者決定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

広域不燃ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、本事業において設計・建設される広域破碎処理施設に係る専門的な知識やノウハウを有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「広域不燃ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、岩手中部広域行政組合（以下「本組合」という。）が本事業を実施する事業者の募集及び落札者の決定を行うに当たって、入札に参加しようとする者に提示する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 決定の手順

本事業における落札者の決定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、2頁の図に示す手順で実施する。

（1）参加資格審査

本組合は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

（2）提案審査

ア 提案書の基礎審査

本組合は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。ただし、本組合が軽微な不備・不足と考えるものにあつては個別に事業者を確認し、提案書全体に影響を及ぼすような重大な問題が無く、部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと本組合が判断したものについてはその限りでない。

イ 提案書の技術審査

岩手中部広域行政組合広域不燃ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

本組合は、入札書に記載された入札価格（消費税及び地方消費税を含まない入札価格）が入札書比較価格（消費税及び地方消費税を含まない予定価格）を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 価格審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

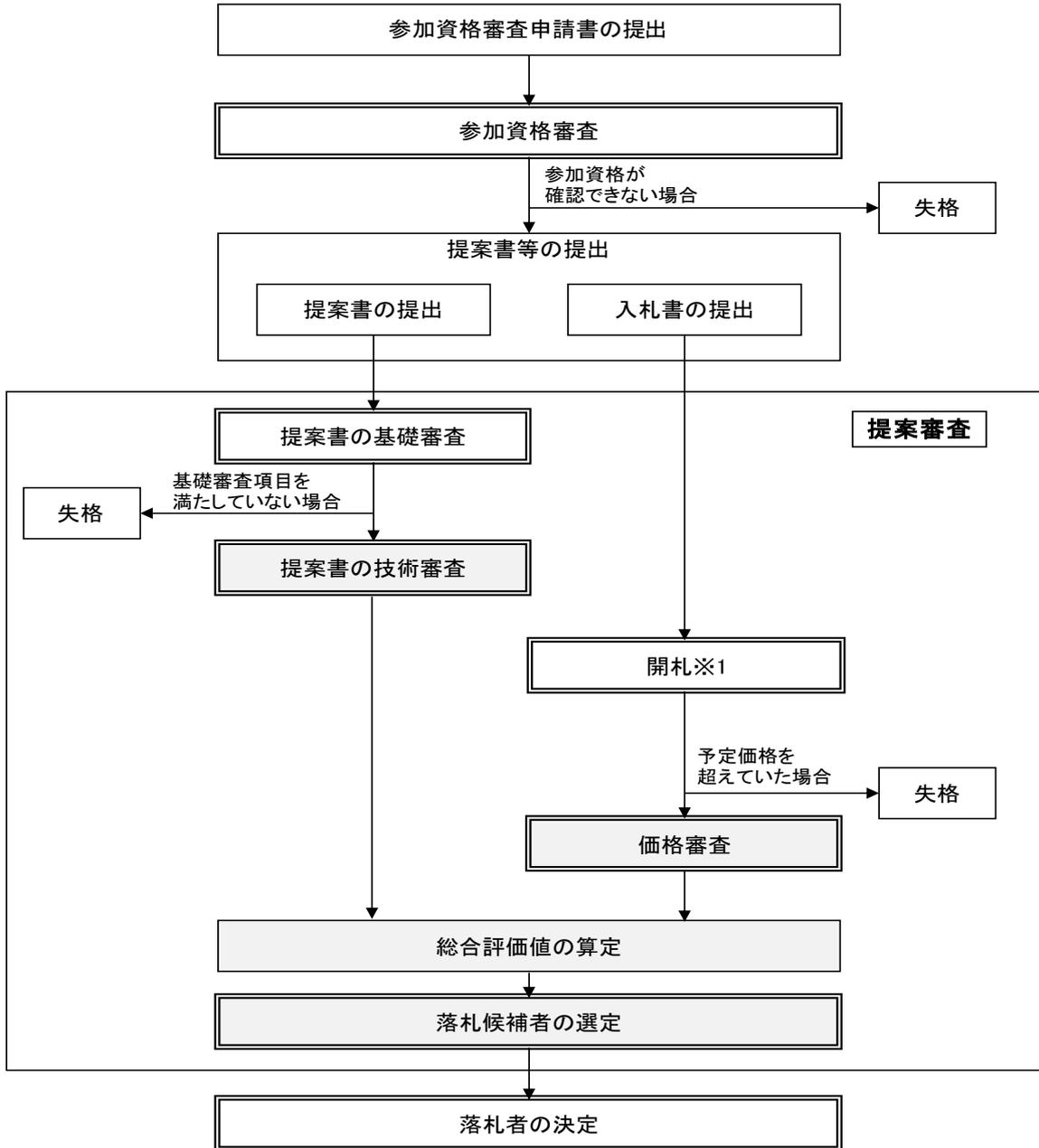
委員会は、提案書の技術審査及び価格審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 落札候補者の選定

委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を落札候補者として選定する。

キ 落札者の決定

本組合は、委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が複数の落札候補者を選定した場合は、当該落札候補者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※1 提案書の基礎審査において失格となった者の提出した入札書は、開札しない。
※2 委員会の事務は図中網掛け部分である。

図 1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加者に関する条件等」を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の技術審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の技術審査の配点、審査基準及び得点化方法については、本施設の基本方針である

- ① 循環型社会に適した処理を行うことのできる施設
- ② 安全・安心な施設
- ③ 経済性に配慮した施設
- ④ 地域特性に配慮した施設

の実現と、それに関連する事項の達成に向けて、本組合が本事業に対して民間の創意工夫を導きだすよう設定した。

したがって、審査項目は、本組合が民間に対して大いに期待している事項であり、その配点はその重みについて示すものである。

なお、各項目の審査の視点及び配点は次の表1のとおりである。

表 1 提案書の技術審査において審査する点

		重要度	詳細点	最終配点	
技術提案（非価格要素）	施設整備の基本方針	1. 循環型社会に適した処理を行うことができる施設		12 点	
		2	① 資源化計画	2 点	4 点
			② 環境負荷低減計画	1 点	2 点
			③ 排水処理計画	3 点	6 点
		2. 安全・安心な施設			39 点
		3	④ 施設の安全稼働に関する計画	3 点	9 点
			⑤ 爆発・火災対策に関する計画	3 点	9 点
			⑥ その他防災計画	2 点	6 点
			⑦ 車輛動線計画	2 点	6 点
			⑧ 機器配置計画	3 点	9 点
	3. 経済性に配慮した施設			10 点	
	2	⑨ 点検補修計画	2 点	4 点	
		⑩ 長期保全計画	3 点	6 点	
	4. 地域特性に配慮した施設			15 点	
	3	⑪ 環境学習・啓発計画	1 点	3 点	
		⑫ 景観デザイン計画	1 点	3 点	
		⑬ 寒冷地対策に関する計画	3 点	9 点	
	その他	1. 施工計画			10 点
		2	⑭ 工程管理計画	3 点	6 点
			⑮ 工事品質管理計画	2 点	4 点
2. 運営・維持管理計画			24 点		
3		⑯ 組織体制・人員配置計画	3 点	9 点	
		⑰ 経営計画・事業収支計画	2 点	6 点	
		⑱ リスク管理・セルフモニタリング計画	3 点	9 点	
3. 地域の活性化への貢献度			10 点		
2	⑲ 地元活用計画(設計・建設業務)	2 点	4 点		
	⑳ 地元活用計画(運営・維持管理業務)	3 点	6 点		
非価格要素合計		—	—	120 点	

(2) 技術提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	配点×0.00

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

表 3 技術提案の得点算定式

算定式 【 技術提案の得点算定式 】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案に関する得点} \end{array} \right)$	$= \left(\frac{\sum (\text{各項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数}} \right)$

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認する。

なお、入札価格が入札書比較価格を超えていない場合は、価格審査を行うこととし、入札価格が入札書比較価格を超える場合は、入札参加者を失格とする。

4 価格審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格による価格要素について、次の算定式により施設整備費に関するものと、運營業務委託費に関するものを個別で算定した合計とし、得点を付与する。なお、得点は、それぞれ小数第3位を四捨五入した値とし、これを合算する。

表 4 入札価格の得点算定式

算定式 【 入札価格の得点算定式 】	
$\left[\begin{array}{c} \text{当該参加者施設整備費} \\ \text{に関する得点} \end{array} \right]$	$= \left[\begin{array}{c} \text{建設配点 30点} \times \frac{\text{最低額入札価格内訳(整備)}}{\text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格内訳(整備)}} \end{array} \right]$
$\left[\begin{array}{c} \text{当該参加者の運營業務} \\ \text{委託費に関する得点} \end{array} \right]$	$= \left[\begin{array}{c} \text{運営配点 50点} \times \frac{\text{最低額入札価格内訳(運営)}}{\text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格内訳(運営)}} \end{array} \right]$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の技術審査」、「4 価格審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

表 5 総合評価値の得点算定式

算定式 【 総合評価値の算定式 】	
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点：200点)} \end{array} \right]$	$= \left[\begin{array}{c} \text{【非価格要素】} \\ \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案に関する得点} \\ \text{(満点：120点)} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{【価格要素】} \\ \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点：80点)} \end{array} \right]$

表 6 提案書の価格（入札価格）・非価格（技術提案）に関する評価手法及び配点一覧

			重要度	詳細点	最終配点	審査基準（審査の視点）	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価		
							1.00	0.75	0.50	0.25	0.00		
技術提案（非価格要素）	施設整備の基本方針	1. 循環型社会に適した処理を行うことができる施設	2	① 資源化計画	2点	4点	・破碎・選別設備において、処理対象物を確実に処理し、高い純度・回収率で資源回収するための最新技術を考慮した処理システムについて、計画性と妥当性を評価する。	特に優れている	AとCの中間程度	優れている	CとEの中間程度	要求水準を満たす程度	
				② 環境負荷低減計画	1点	2点	・施設建設、及び運転中の騒音、振動、悪臭の低減対策について、計画性と妥当性を評価する。						
				③ 排水処理計画	3点	6点	・本施設ではプラント排水の系外放流を想定していない中で、岩手中部クリーンセンターとの連携も含めた、プラント排水の処理方法における実現可能な提案内容について、計画性と妥当性を評価する。						
	2. 安全・安心な施設		39点	3	④ 施設の安全稼働に関する計画	3点	9点						・事故等回避策、事故等発生時の安全対策及び安定稼働について、過去の実例も含め、計画性と妥当性を評価する。 ・ヒューマンエラーによる一次災害・二次災害を防止する機能やシステムについて、計画性と妥当性を評価する。
					⑤ 爆発・火災対策に関する計画	3点	9点						・主にリチウムイオン電池やカセットボンベ等に起因する爆発・火災事故対策において、プラント、建築等本施設全体で、適切かつ万全な予防および事後対処方法について、過去の実例も含め、計画性と妥当性を評価する。
					⑥ その他防災計画	2点	6点						・震災や液状化等の災害に対する施設自体の強靱性に配慮したハードウェアとしての工夫、事業継続計画（BCP）によるソフトウェアとしての工夫に対し、計画性と妥当性を評価する。
					⑦ 車輛動線計画	2点	6点						・屋内外を含めた搬入、運搬・投入、搬出、メンテナンスの各車両の動線において、車両事故等に対する安全対策、待車場所確保等による周辺道路への渋滞対策、場内誘導などの計画性と妥当性を評価する。
					⑧ 機器配置計画	3点	9点						・維持管理が容易な設備配置、メンテナンス動線、メンテナンススペースの確保等について、計画性と妥当性を評価する。
	3. 経済性に配慮した施設		10点	2	⑨ 点検補修計画	2点	4点						・20年間の運営・維持管理が十分可能となる計画的かつ効率的な点検補修等計画について、計画性と実効性を評価する。 ・点検補修・整備時の経年費用の継続的な削減に資する計画について、計画性及び実効性を評価する。
					⑩ 長期保全計画	3点	6点						・30年間の適正稼働を目指す施設として、後半の10年間を担う次期運営事業者への費用負担が過大とならないよう配慮され、かつ円滑な引継ぎが行えるような計画について、計画性と実効性を評価する。
	4. 地域特性に配慮した施設		15点	3	⑪ 環境学習・啓発計画	1点	3点						・小学生や一般見学者等の視点に立った見学ルート設定、引率・説明方法、見学場所、見学窓の配置等について計画性と妥当性を評価する。 ・本組合の環境事業情報の発信基地として、岩手中部クリーンセンターの補完的位置付けとなる提案について評価する。
					⑫ 景観デザイン計画	1点	3点						・隣接する岩手中部クリーンセンターや周辺景観との調和、住民に親しまれることに配慮した建築デザインの妥当性を評価する。
					⑬ 寒冷地対策に関する計画	3点	9点						・建設地で予想される積雪、凍結、結露等寒冷地特有の風雪害に関する対応について、計画性と妥当性を評価する。
その他	1. 施工計画		2	⑭ 工程管理計画	3点	6点	・冬期に風雪害が発生する立地条件、作業員不足や半導体不足が叫ばれる世情の中での労働者保護（福利厚生や公正労働等）などを考慮しながら、確実に工期を遵守するための計画性と実効性を評価する。						
				⑮ 工事品質管理計画	2点	4点	・処理性能としての要求水準を満足するだけでなく、工事自体及び竣工後の本施設設全体の品質を確保するための、施工計画及び施工体制の計画性と妥当性を評価する。						
	2. 運営・維持管理計画		24点	3	⑯ 組織体制・人員配置計画	3点	9点	・組織体制及び運営管理体制の各々の役割分担が明確であり、人員配置の工夫及び効率性について、計画性と妥当性を評価する。					
					⑰ 経営計画・事業収支計画	2点	6点	・20年の運営・維持管理期間にわたり安定した経営を行うための事業収支計画について、計画性と実効性を評価する。					
					⑱ リスク管理・セルフモニタリング計画	3点	9点	・リスク顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化に考慮するリスク管理方針及びリスク管理体制について、計画性と実効性を評価する。 ・セルフモニタリングの実施内容、頻度、報告内容等について、計画性と実効性を評価する。 ・付保する保険内容について妥当性を期待する。					
	3. 地域の活性化への貢献度		10点	2	⑲ 地元活用計画（設計・建設業務）	2点	4点	・設計・建設業務において、地元企業を活用した施工体制の計画性と実効性を評価する。					
⑳ 地元活用計画（運営・維持管理業務）					3点	6点	・運営・維持管理業務において、地元企業からの資材調達や地元雇用に配慮した体制の計画性と実効性を評価する。						
非価格要素合計			-	-	120点	-							
価格要素	施設整備費入札額	入札価格のうち施設整備費内訳	-	-	30点	・配点×最低入札価格（施設整備費）／当該入札参加者の入札価格（施設整備費）	-	-	-	-	-		
	運営業務委託費入札額	入札価格のうち運営業務委託費内訳	-	-	50点	・配点×最低入札価格（運営業務委託費）／当該入札参加者の入札価格（運営業務委託費）	-	-	-	-	-		
	価格要素合計			-	-	80点							
評価点合計			-	-	200点								

第4章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり、入札参加者に対してヒアリングを行う。
ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第5章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。